

令和7年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	37	豊田市立 梅坪小 学校	代表	山田知恵子
------	----	-------------	----	-------

※分野【a : 国際交流・国際理解、b : 地域連携、c : 自然体験、d : 環境教育、e : 学力向上、f : 交流体験、g : 福祉・ボランティア、h : 伝統文化、i:その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	かかわり合いを通して学び育ち合う子どもの育成	分野	f	交流体験
	サブテーマ 自他を大切にし、真心こめて力いっぱい今を生きる 梅坪っ子	(その他)は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点（ねらい）	<p>本校は「人とのかかわりを大切にする人間関係力の育成」を重視し、自他を大切にする子どもの育成に努め、学校教育全体を通して、他者とかかわりながら学び合うための働きかけを続けている。子どもの相互のかかわりや、地域の「人・もの・こと」とのかかわりを大切にした活動や授業を計画的に位置づけることで、互いに尊重し合える心情の醸成と、相手を理解して行動しようとする子どもの育成に取り組んでいきたい。</p> <p>保護者をはじめ、地域の方々にもホームページやきずなネット等で活動内容を情宣し、校外活動・校内活動を問わずボランティアとして積極的に参加してもらい、子どもたちとの交流の機会を増やしていきたい。</p> <p>人とのかかわりを大切にする子どもを育成するためには、子どもたちが自尊感情を高めることが必要であると考える。安心・安全な環境の中、一人一人の子どもたちの身体と心を支援することで豊かな心を育みつつ、日々の細やかな生徒指導や教育相談を行う体制の充実を図りたい。</p>			
活動内容・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生をリーダーとして行う毎月の「なかよし遊び」を含め、縦割りで行う活動や学校行事を企画・実施する。 5月：出会いの会 12月：なかよしフェスティバル 2月：6年生を送る会 ・生活科や総合的な学習の時間、5・6年生のクラブ活動等において、地域と連携できる機会を位置づけて計画的に取り組む。 1年：こども園との交流 2年：町探検 3年：梅の学習 4年：福祉 5年：防災 6年：キャリア教育 ・各学年とも、授業参観や学校ホームページで、他学年・地域とのかかわりを通して学習したことを公開し、保護者や地域の方々に見ていただく機会をつくる。各学年ごとに学習発表会を行う。 ・登下校の見守り、行事ボランティア、読み聞かせ交流等、保護者や地域の方々と子どもが一緒になって活動する機会を増やす。 ・校内整備員により、子どもたちが安心して活動できる教室環境を整える。 			
補助員配置	校内整備員			
実績・期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし遊び（縦割り遊び）を通して、低・中・高学年それぞれが自分の立場を考え、活動を成功させるためにはどう行動すればよいのか、相手のことを思いやって行動するようになる。縦割り班でゲームを企画する「なかよしフェスティバル」では、5・6年生によって学年に応じて仕事が割り振られており、他の班のゲームを楽しむことや自分の役割を達成する喜びを味わうことができる。 ・総合的な学習の時間において地域人材を積極的に活用し、地域と密着した実践を重ねることで、地域に親しみ、地域の人を尊敬し、地域活動に積極的にかかわろうとする子どもたちが多くなる。また、継続して活動に取り組むことで、保護者・地域から周知・理解・信頼され、支援・協力される学校になる。 ・読み聞かせ交流を継続して行うことで、本に親しみをもち、読書が好きな児童を育むことができる。また、地域のボランティアの方々と触れ合う機会となり、地域とのつながりを感じることができる。 ・毎月の安全点検では修理が必要な場所が何か所も報告されている。校内整備員と協力し、安全な環境で子どもがのびのびと学習できるように環境を整えていく。 			
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が、縦割り班の仲間を理解し、配慮した行動ができるかを検証する。（縦割り活動での児童観察、児童や教師の感想） ・地域に関して学んだことを子どもたちが発表する様子から、子どもたちが地域の人に対して尊敬の念を抱いたり、積極的にかかわろうとしているかを検証する。（生活科・総合的な学習の時間における児童のまとめや発表の様子、保護者や地域の方のアンケート） ・特色ある学校づくり推進事業に対する評価から検証する。（保護者アンケート・学校自己評価） 			